



第7回、日本研修

～スウェーデン高校生の抱負～

「スウェーデン・トンバ高校訪日研修事業」は、ストックホルム県ポートシルカ市トンバ高校で日本語を学ぶ高校2年生に、日本での高校体験入学やホームステイを通して、日本語のレベルアップと幅広い日本理解を促進することを目的としている。7年目の今年は5名が3月29日から4月12日まで研修に参加する。ここにホストファミリーへのメッセージを抜粋し紹介する。

◇

ウィリアム カールソン・テイラー

私はウットランに住んでいます。ストックホルムの郊外です。私の家族は4人で、母と父、妹です。家にウサギがいます。ウサギの名前はアリスです。

趣味は合気道とエレキベース。ロックやポップやファンクやインディーや電子音楽が好きです。日本のKIDO YOJIやLUNA SEAが好きです。

休みによく本を読みます。文学は面白いと思います。高校の専攻は人文学で、日本語とフランス語を勉強します。

将来の仕事はわかりませんが、大学で人文学と日本語を勉強したいです。

ファッションが好きだから日本で買いたい物があります。原宿と渋谷へ行きたいです。日本の食べ物、回転ずしと日本の朝ご飯もためしたいです。プリクラを撮りたいです。日本のお菓子を買いたいです。お寺や公園に行きたいです。学校で日本のクラブをためしたいです。剣道や茶道です。

ミシェル ヘドストローム

はじめまして。私はグネスタに家族と住んでいます。父と母、兄が3人、姉が2人います。ねこが2匹います。

私の趣味は音楽やゲームです。ギターを弾くこと、歌を歌うこと、友だちに会うこと、旅行することが好きです。そしてアニメが好きです。ワンピースやブリーチがあります。

日本でカルチャーを見たいです。日本の食べ物を食べたいです。新しい友だちに会いたいです。そして、ホストファミリーを楽しみにしています。

テア ルンドストローム

こんにちは。私はストックホルムに住んでいます。家族は父母と妹です。私はインターネット、テレビゲーム、まんがとアニメが好きです。一番好きなアニメはワンピースです。

私は日本で有名どころがたくさん見たいです。日本の伝統的な料理を食べたいです。そして新しい友人に会いたいです。私はあなたに会えるのを楽

しみにしています。

スサンナ マテイ

こんにちは。私は16歳です。イタリア人ですが、スウェーデンに家族と14年住んでいます。日本語を2年勉強しています。私の家族はカトリックで、教会は私たちをスウェーデンにおくりました。私の家族は大きいです。12人です。姉が4人、兄が3人、妹が2人、そして父母と私。父は映画が好きです。母は看護士です。私の趣味は歌を歌うことや小説を書くことです。

私はアニメが大好きです。たとえば、「進撃の巨人」や「フリー」です。音楽も好きです。とくにロックやボーカロイドです。好きな食べ物はパスタやすしです。

メリッサ トウンチ

はじめまして。私はスウェーデンに住んでいますがトルコ人です。父と母と兄と一緒に住んでいます。

私はまんがとアニメが好きでアニメのファンです。ひまなときまんがを読みます。ゲームもします。

長い旅のとき、スウェーデン語の本も読みます。私は日本語に興味をもっています。日本のことをもっと知りたいです。日本の文化を学び、東京タワーに行きたいです。渋谷にも行きたいです。日本の文化はとてもおもしろいと思っています。日本の食べ物をためしてみたいです。

(平仮名表記を一部漢字に編集)

世界万華鏡

通訳ボランティア

かねこ 金子 進次

シリーズ③

チリ・パスクワ島を訪れて

2014年春のピースボート地球一周クルーズにおいて最長となる4日間のペルー滞在を終えて船に戻ると、持ち込んでいた私物のギターを貸して欲しいという依頼をスタッフから受けた。ミュージシャン兼現地 NGO (非政府組織) の代表であるパスクワ島からのゲストが船内で作曲と演奏を行うために使いたいとのこと。彼のおおらかな人柄に感銘を受け、すぐに快諾した。

パスクワ島は日本では一般的にイースター島という英語名で知られ、モアイ像で有名である。一方、人口の6割を占める先住民系の人々にはラパ・ヌイという現地語名で呼ばれている。ピースボートでは先住民文化に敬意を表す意味でラパ・ヌイと呼んでいる。

太平洋の絶海の孤島であるラパ・ヌイだが、近代化や欧米文化の流入により独自の文化や言語が失われつつあるそうだ。彼の NGO は、音楽やダンスを通じてラパ・ヌイの伝統文化を継承し守っていくことを使命としている。

彼は船内でホコと呼ばれる力強いダンスや、優しく神秘的な素晴らしい演奏を披露した。ホコはニュージーランドのハカというダンスにも似ており、ポリネシア文化圏の文化のつながりを

感じた。ボンゴや和太鼓の演奏で彼と一緒にステージに立つことができたのは忘れがたい思い出となった。

ペルー出発から6日後にラパ・ヌイに到着した。大型船が停泊できる港を持たないラパ・ヌイへは、テンドーボートという小型船に乗り込んで上陸した。美しい砂浜の近くには、数体のモアイ像が並んでいた。

船着き場の近くでオーストラリア出身の陽気な現地ガイドと落ち合う。彼はラパ・ヌイで考古学の研究を行っており、5年ほど滞在しているそうだ。

モアイは有力な首長や勇者たちを祀るために作られ、部族を見守る役割を担っていたという説が有力だ。ポリネシア地域の他の島々でも同様に祖先を祀る像が作られているが、ラパ・ヌイではモアイ作りの文化が極端に発展し、年月をかけた次第に像が大型化していった。島には作りかけのものも含め1000体ものモアイが存在し、最大級のものには長さ20メートル、重さ90トンに達する。

ラパ・ヌイにはほとんど樹木が生えておらず、どこまでも草原が続いている。どことなく神秘的な雰囲気があり、とにかく清々しい。



船内での演奏会。写真提供：梶浦崇志

ラパ・ヌイと日本にはモアイを通じた強いつながりがある。日本の大手建設機械メーカーがクレーンを提供し、津波などで倒れたモアイの修復に大きく貢献したのだ。一方、東日本大震災からの復興を願って、宮城県南三陸町にモアイのレプリカが寄贈されている。

夜には現地 NGO のメンバーでもあるミュージシャンやダンサーたちによるショーが船内で開催された。彼らは島内で初となる音楽学校の設立を目指し活動している。完成した際にはぜひ訪れてみたいものだ。

平成27年1月17日発行
一般社団法人 国際フレンドシップ協会
〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-12
麻布台ロイヤルプラザ502
発行責任者：及川 伊佐子
編集：事務局 03(3582)3021
印刷：音和堂印刷株式会社



第8回、日本研修

～スウェーデン高校生の期待～

スウェーデン・トンバ高校の訪日研修は今年で8年目となり、6月5日から20日までの16日間、日本語を学ぶ高校2年生15名(男子5名、女子10名)がホームステイをしながら日本の高校に通う。ここにホストファミリーへのメッセージを抜粋し紹介する。



Erik A. エリク アンドレアソン (男子)

私は言語が大好きですから人文学を勉強しています。音楽も大好きです。夢はアイドルになることですが、アイドルになることはとても難しいですから、日本で英語とヨーロッパの歴史の先生になりたいです。子どものころから日本に行きたかったです。日本へ行く前に日本語をたくさん学びます。

Sofia A. ソフィア アルヴィドソン (女子)

私と私の家族はフッディングに住んでいます。静かできれいな街です。大きい家や森があります。私は本が好き

ですからよく本を読みます。好きな作家はタヘレ・マフィです。マフィの“Shatter me”はとっても面白いです。日本の食べ物が好きです。すしやラーメンが一番好きです。絵を描くことも好きです。肖像画を描くのが好きです。

Sofia E. ソフィア エルトマン (女子)

私は学校でスウェーデン語と英語とスペイン語とラテン語と日本語を勉強しています。趣味は新しい言語を勉強することです。学校の外でアイルランド語を自分で勉強しています。ギターを弾くこと、本を読むことも好きです。好きな作家はニール・ゲイマンです。

Isac イサク (男子)

学校で日本語かスペイン語を勉強しています。日本の漢字はむずかしいです。でも、とてもおもしろいですよ。私はしんせつな人です。新しい体験が好きです。東の文化はおもしろいからです日本語は楽しいです。本を読むこと、音楽を聞くことが大好きです。ギターを弾いたり映画を見たりします。

Anna アンナ (女子)

私の家族はロシア人ですが、スウェーデンのトンバに住んでいます。趣味はアニメと音楽とピアノです。好きなアニメはナルトとワンピースです。私の好きな音楽はK-ポップスです。日本に行きますのでお寺と渋谷に行きたいです。

Eric L. エリク ラウレンス (男子)

人文学の勉強で、英語とラテン語が得意です。日本語は難しいですが、おもしろいです。趣味は絵をかくことです。サイエンスフィクションの本が大好きです。日本の音楽を聞くことも好きです。音楽の中で演歌が一番好きです。週末によく友だちとゲームをします。日本に行くのが楽しみです。

Therese テレース (女子)

私は人と話すことが大好きで、すぐに友だちをつくることができます。日本で新しい友だちをたくさんつくって、みんなとたくさん遊びたいです。趣味はスポーツセンターに行くことです。日本のドラマを見ることも大好きです。好きな俳優は、小栗旬と三浦春馬と堀北真希です。好きなドラマは、花より男子と花きみとアタシんちの男子です。毎日、日本語を勉強するためにインターネットでドラマや音楽を見たり聞いたりしています。

Aleksandra アレクサンドラ (女子)

私の家族は父と母と姉と兄です。父はセルビア人で母はフィンランド人ですから、私はセルビア人とフィンランド人のハーフです。日本語とスペイン語とラテン語を学んでいます。ダンスと音楽が好きです。姉といっしょにダンスをします。アニメも好きです。夢はジブリ博物館に行くことです。

(本人手記の抜粋、校正：編集)

世界万華鏡

スペイン留学生の見た日本 イリス コントララス 「まさか失礼なことをしましたか」

「初めまして。私はイリスです。よろしくお祈りします」

日本に来たばかりのころ、知り合いに日本人の女の子を紹介された時のことです。目が大きくてかわいい女の子でした。私は日本語を間違えないように気をつけながらあいさつしました。

すると、彼女はびっくりして、大きい目ももっと大きくなりました。私、まさか失礼なことをしましたか。汗をかいて、すごく心配になりました。自分がしたことを一つひとつ思い出してみると「あ！それだ！」とやっとわかりました。

では、私は何をしたのでしょうか。私は彼女に「キス」をしたのです。スペインでは初めて会った人とあいさつするとき、頬に「チュッチュッ」と二回キスをするものです。日本人にとっては、このような習慣がないので恥ずかしいかもしれません。

スペインのあいさつのしかたを説明したら、彼女は笑って、理解してくれました。あいさつのしかたは国によって違うにきまっています。よく考えると、日本とスペインの一番の違いは「体のコミュニケーション」だと思います。スペイン人にとって体のコミュニケーションは絶対に必要です。



なぜなら、「あなたを受け入れます」、「仲良くしましょう」という気持ちをお互いに伝えるサインだからです。逆に、されないと「私って嫌われてる」と心配になってしまいます。

一方、日本人には距離が必要です。適度な距離を取るのには、「相手のテリトリーを尊重する」という意味があるようです。つまり、体に触らないことこそ、「思いやりのサイン」なのではないでしょうか。

それでは、初めて会った人とあいさつをするとき「日本では一体どうすればいいのかな」と気になりました。そこで日本人の様子をよく観察してみました。50センチぐらいあけて、軽くほほえみをうかべ、頭を少しげたらパーフェクトです。

留学生のみなさんも、日本で私のように「まさか失礼なことをしましたか」と思うこともあるでしょう。でも、それは失敗ではなく、「ふるまい」の文化の違いを知らなかっただけです。日本人と会話をするとき、言葉よりも、その場に適したふるまいが大切になることもあります。

「ふるまい」とは、体を全部使って発信する、いわゆる一つの言語です。相手に触ること、相手との距離を考慮すること、微妙な顔の表情を作ることなど、体験があってこそ、これらをうまく使い分けられます。

そして、日本にいる今しかこの「使い分け」を勉強するチャンスはありません。相手を思いやる気持ちさえ忘れなければ、たとえ間違っても大丈夫です。さあ、みなさんも私と一緒に「ふるまいの勉強」を頑張りましょう。

IFA 後援、「第10回日本語学校合同スピーチ大会」第3位スピーチ。

平成28年1月17日発行
 一般社団法人 国際フレンドシップ協会
 〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-12
 麻布台ロイヤルプラザ703
 発行責任者：及川 伊佐子
 編集：事務局 03(3582)3021
 印刷：音和堂印刷



第8回、日本研修

～スウェーデン高校生の期待～
その2

先月号に続き、スウェーデン・トンバ高校の訪日研修（6月5日から20日まで）に参加する15名の生徒の中からホストファミリーへのメッセージを抜粋し紹介する。

Edessa エデッサ (女子)

私の家族は8人です。大家族です。母、父、そして4人の兄と姉がいます。私は末っ子です。

人文学科の生徒で、勉強は面白いです。小説を書くのが好きです。作家になりたいです。書くことは楽しいです。それ以外にも、工芸品が好きで、携帯のキーホルダーやケースを集めています。また、たまにマンガを読みます。好きなマンガの作家は、さきさかいおと、きしもとまさしです。

Jesper イェスパー (男子)

トンバ高校の2年生です。英語が得

意です。日本語は関心がありますが難しいです。私の趣味はゲームやまんがです。ゲームの中で「Monster Hunter」が好きです。まんがの中では「とらどら」が一番です。週末によく友だちとゲームをします。

日本に行くのが楽しみです。日本でゲーム屋に行きたいです。たくさん日本語を習いたいです。

Sara サラ (女子)

私は学校で英語とスウェーデン語とタイ語を話します。日本語は難しいですが、大好きです。ストックホルムの南のサーレムに住んでいます。静かな町です。

私は本を読むのが好きです。とくにファンタジーとロマンスの本です。週末にときどき友だちに会って勉強をします。私は日本の文化と日本の食べ物に関心があります。

Eric B. エリック バックマン (男子)

英語や数学が得意です。でも日本語は私の一番好きな科目です。

私の趣味はゲームと映画です。よく彼女と映画を見ます。

ホストファミリーに会うのが楽しみです。どうぞよろしくお願いします。

Magdalena マグダレーナ (女子)

私の名前はマグダです。学校の勉強は難しいですが、頑張ります。英語が得意です。日本語は難しいですが、楽しいです。

私は家族とソルナに住んでいます。ソルナはストックホルムの北にあります。ソルナに城があります。皇太子妃がそこに住んでいます。とてもきれいな町です。

私は子どものころから「セーラームーン」が大好きです。

ミュージカルが好きです。そして歌うことが好きです。私はひとりで家にいるとき、よく歌います。

Nice ナイス (女子)

学校で人文学の勉強をします。英語とイタリア語が得意です。日本語は面白いですが、難しいです。

私の趣味は韓国のドラマを見ることとマンガを書くことです。

私は本を読むことが好きです。オンライン小説は面白いです。週末によくゲームをします。私は毎日学校の勉強をします。

Marta マルタ (女子)

私の名前はマルタです。ストックホルムはにぎやかな町ですから、人がたくさんいます。有名な場所は王宮やガムラスタンです。ストックホルムは、冬は私には寒くないですが、日本人には本当に寒いです（だけど白クマはいません）。

日本に行くのでお寺やきれいな場所を見たいです。ホストファミリーの皆さんに会うのが楽しみです。

(本人手記の抜粋、校正：編集)

世界万華鏡

スウェーデン高校生の見た日本

ウィリアム・テイラー

私はトンバ高校のウィリアム・テイラーです。私は難民問題について話します。

UNHCRによると、2015年にシリアの難民は400万人を越えました。そのうちスウェーデンまで、亡命した人の数は16万人に達しました。スウェーデンには、難民を助けたい人が多くて、称賛を受けています。

FOKUS新聞の「今年の人」に選ばれたのは、ボランティアの人たちです。学校やスポーツクラブ、図書館も難民を助けています。したがって、スウェーデンは、難民を歓迎する国といわれています。

スウェーデンの人口の中で、16パーセントの人は外国で生まれています。スウェーデンは多文化の国で、色々なライフスタイルが可能です。日本人は3000人位います。日本で外国生まれの人は、2パーセント足らずです。日本は、人口が高齢化する中で、移民の労働力も必要ではないでしょうか。

ライターによると、2014年は5000人の難民が日本に来て、難民申請をしました。その中で、11人が難民の認定を受けました。2014年には、世界で2000万人の難民がいて、そのうち日本で11人だけが受入られました。



しかし、今、日本は、働き手が必要です。スウェーデンのテレビ局、SVTは、日本の老人ホームでインタビューをして、日本人とフィリピン人の職員と話しました。看護師長は、移民の受入が必要だと考えていました。しかし、介護をしてもらっている人の娘さんは、難民の受入に懐疑的でした。このような人は、おそらく、看護師にはなりたくないかもしれません。それでは、誰が、将来、老人の介護をしてくれるのでしょうか。

移民の受入に反対の人は、移民の文化と日本文化は違い過ぎると言われますが、多元性、異文化の共存は日本の伝統でもあります。神道と仏教は共存していて、クリスマスのような欧米の行事も人気があります。日本でクリスマスに食べるケンタッキーフライドチキン、おいしくないですか。

職業のほかに、難民も移民も文化を持って来ます。ときおり、これは問題と言われてはいますが、私は文化の交流はポジティブなことだと考えます。

例えば、毎年ストックホルムでお花見があります。スウェーデン人は日本料理を食べたり、日本の踊りや美術や着物を見たり、日本の音楽を聞いたりできます。

しかし、スウェーデンでも、日本でも、このような文化の交流が嫌いな人がいて、ナショナリズムの考えがあります。もちろん、スウェーデンや日本の独自の文化は大切ですが、異文化の交流はそれぞれの文化を殺してはいけません。文化交流はお互いの文化を豊かにしてくれます。だから、日本も積極的に難民を受け入れる国になることを期待しています。

2016年1月23日(土)に実施された、在スウェーデン日本国大使館主催「日本語弁論大会」優勝スピーチ。昨年、IFAの実施した「日本研修」に参加した生徒。

平成28年2月17日発行
一般社団法人 国際フレンドシップ協会
〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-12
麻布台ロイヤルプラザ703
発行責任者：及川 伊佐子
編集：事務局 03(3582)3021
印刷：音和堂印刷刷